

# 伝産×〇〇のシナジー（CASE 9：MAKINO URUSHI DESIGN）



## ●ポイント

京都伝統の漆技術を仏具や寺院、インテリアなどに展開するオールラウンド塗師集団  
異分野の職人やデザイナーとコラボレーションを行い、今までにない画期的な製品を展開

## ●経緯

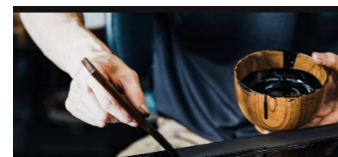
牧野家3世代、そしてベテランから若手たちが漆の塗技術を生かし、大型の仏壇仏具の新調・修復を手掛ける京都の大手塗師集団。多種多様な刷毛のみならず、スプレーガンを用いた100%天然漆の吹き付けなども行う。その技術の幅広さと高度さにより、国内外のインテリア等にも応用範囲を広げつつある。

## ●取組内容

2020年次期4代目 牧野昂太氏の入門を契機に、今まで手がけていた大型の仏壇仏具の新調・修復で培ってきた漆技術（金閣寺の修復も同社で手がけた）を活かしハイエンド・インテリア家具やオブジェなどの制作に着手し、自社ブランドである「MAKINO URUSHI DESIGN」を立ち上げた。

京都中央信用金庫の支援策を活用して、コーディネーターの株式会社TCI研究所、海外アドバイザーの Scenery International PTE.LTD の斎藤峰明氏、海外デザイナーの Gernier et Linker社とのミーティングを重ね、海外向けインテリア商品開発・販路開拓に取り組み、長年蓄積してきた漆技術の見本と新開発の漆技術の見本をカタログやサンプル集として整理。漆の価値を訴求できるアーカイブ集やCG などインテリアシーンでの施工事例イメージ集等を作成した。

成果物をリニューアルした自社のWEB サイトへ掲載し、大手キッチンメーカーやラグジュアリーホテル等とのコラボを展開している。



同社の漆は以下の3手順  
①木地整備・下地  
②下塗り・中塗り・研ぎ  
③上塗り

## ●牧野チーフマネージャからひとこと！

若い職人が伝統産業に中々従事できない時代の背景にはこの先の時代が見えないのが今の現状であり、これからのビジョンを見せる事が重要になると思います。  
私たちは、今海外に日本の技術の集大成を広めています。  
残していく物はしっかりと残しつつ、伝統を守り、新しいものも取り入れ今取り組んでいる事が次の時代の伝統となるよう動いています。必ず勝機はあると思います。一丸となって頑張っていきます。



牧野チーフマネージャ

## 会社概要

### 株式会社牧野漆工芸

設立

2018年（創業1985年）

代表取締役

牧野 俊之

事業内容

漆塗り（神社仏閣、仏壇仏具、美術漆器、インテリア）

デザインオブジェクトの漆塗り、デザイナーとコラボ漆塗り

伝統工芸を海外に向けてのPR





# MAKINO URUSHI DESIGN プレゼンツ“漆”がある暮らし

